

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	キャリアトレーニングⅡ	授業形態/必・選	講義	必修	
		年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	41回(82単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴					
授業概要					
依頼文や手紙などの実用文章、レポート文、SNS、小論文など様々な文章の形態について学び、社会人としてのスキルを身につける。					
到達目標					
音楽業界で仕事をする上で必要な最低限の文章力を身につける。					

授業計画・内容	
【前期】 1～6回目	文章の種類、伝わりやすい文章とは
【前期】 7～10回目	語彙を増やす 表現のバリエーション、対義語、同義語
【前期】 11～14回目	実用的な文章 依頼状の書き方、手紙の書き方、履歴書の書き方、魅力的なプロフィールの書き方
【前期】 15～20回目	条件のある文章 書評、映画評、音楽レビュー、プロフィールなどの書き方、データを盛り込んだ文章
【後期】 1～3回目	文脈を読み取る 長文を短くまとめる練習、複雑な文章を読解して内容をまとめる、文書の「設計図」の作りかた
【後期】 4～7回目	論理的思考の練習 物事や気持ちの「流れ」を意識する、読者が納得する思考回路
【後期】 8～11回目	文体の研究 文体＝文章のキャラを解説、文体を変えて(キャラ変)して文章を書いてみる
【後期】 12～18回目	感情を動かす文章、魅力的なキャッチコピー
【後期】 19～21回目	SNS、小論文
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	教室内は飲食不可。配布プリントの取扱いに注意してください。
使用教科書	適宜授業プリントを配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	音楽スタッフ総合実地演習Ⅱ	授業形態 / 必・選	演習	必修	
		年次	2年次		
授業時間	180分(1単位時間45分)	年間授業数	8回(32単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。				
授業概要					
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。					
到達目標					
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。 イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。 企画、立案、進行等、インプット・アウトプット能力の向上。					

授業計画・内容	
1～2回目	学校法人イーエスピー学園主催イベント①②
3～4回目	学園祭準備①②
5～6回目	学園祭①②
7回目	学園祭片付け、原状回復
8回目	ライブエンターテイメントEXPO / InterBEE見学
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	この演習を通じて、現場における流れや、他社とのコミュニケーションの仕方等確りと学んでください。
使用教科書	当日の役割分担表、タイムテーブル等を配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	舞台製作・楽器講座	授業形態 / 必・選	講義	選択必修	
		年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	39回(78単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験:21年 楽器レンタル会社に所属の後にフリーランスとして15年ほど活動。担当アーティストの楽器・機材のケア、またイベントなどでの現地楽器、リハーサル時などではPAまわりも担当。楽器の他に舞台監督としてアーティスト周年イベントなどでも活動。				
授業概要					
尺貫法や平台・箱馬の扱い方、楽器や周辺機材の知識・扱い方、各種セッティング等を学ぶ。					
到達目標					
マネージャーとして必要な各楽器の基本的なセッティング、メンテナンス方法、ステージ全体の構成等のノウハウの習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	舞台用語について 安全な機材の運び方 尺貫法について/バミリについて
【前期】 4～6回目	Time Table、Stage Plotの見方について ライブ現場での各セクションの動き
【前期】 7～10回目	ドラムについて シンバルスタンド類について ドラムのセッティング～ドラムのパーツケースへのしまい方(紐の結び方)
【前期】 11～16回目	ギター/ベースについて チューニング/弦交換
【前期】 17～20回目	アンプの種類について ギター・アンプの接続と音が出る仕組み ステージでのジェスチャーについて
【後期】 1～6回目	各種楽器スタンドの組み立て方 ピアノ・シンセ・オルガンの違い アンプ/PAから音が出る仕組み
【後期】 7～10回目	ギター/ベースの指板上の音階について コンボ/セパレート・アンプの構造
【後期】 11～17回目	アンプの各ツマミについて/音作り エフェクター各種
【後期】 18～19回目	年間の復習と総括
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	楽器の取扱いについては、講師の指示に従う事。また、機材在庫数の管理は細心の注意を払う事。服装については、学科規則に基づき遵守してください。
使用教科書	オリジナルテキストを随時PDF形式にて配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	プロダクションデザイン実習	授業形態 / 必・選	実習	選択必修	
		年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	82回(164単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験:10年。 印刷会社にてソフトスキルを習得し、退社後に現在の会社でデザイナーに転身。音楽業界・エンタメ関係のグラフィックデザインに従事し、現在に至る。				
授業概要					
会報制作や、グッズ制作などに役立つデザイン知識を学ぶと共に、見積の取り方や、入稿作業等についての知識・ノウハウの習得する。					
到達目標					
マネージャーやファンクラブスタッフとしてのデザインやビジネススキルの修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	名刺作成、ロゴについて
【前期】 5～10回目	ライブ用フライヤー制作、ロゴ制作、会報制作、ドロップ幕制作
【前期】 11～22回目	ステッカー制作、会報制作①
【前期】 23～29回目	グッズ制作、CDジャケット写真制作
【前期】 30～42回目	会報制作②、CDジャケット写真制作、CD購入者特典制作
【後期】 1～14回目	会報制作②、CDジャケット制作
【後期】 15～24回目	会報制作③ 企画・見積・デザイン・プレゼン・発注・納品確認
【後期】 25～36回目	会報制作③ 立案・取材・誌面制作・入稿・入稿確認
【後期】 37～40回目	デザイン課題制作 総括
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	制作物の取り扱いについては、著作権等注意すること。
使用教科書	授業資料として、CDジャケットテンプレートなどのフォーマットをデータで配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	メディア制作実習	授業形態 / 必・選	実習	選択必修	
		年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	82回(164単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験:11年。 映像制作、イベントプロデュース、SNS運営、商品企画、ECサイト運用、マーケティングといった様々な実務経験とスキルを身につけると共に、専門的なソフトウェアを用いた業務を行っている。				
授業概要					
基礎的な映像編集技術を用いて映像コンテンツを企画し、映像を使った番組、CM等制作を行いネットメディアでの公開等について学ぶ。					
到達目標					
アーティストのプロモーション等につながる企画力の向上、また企画を形にするノウハウの習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	プロモーション企画制作 年間の流れについて確認/スチール撮影講習/マーケティング授業
【前期】 9～12回目	プロモーション企画 バンド紹介動画制作/MV企画制作
【前期】 13～24回目	バンド紹介動画制作。
【前期】 25～36回目	ライブ告知動画制作。
【前期】 37～42回目	MV告知動画制作。
【後期】 1～14回目	ライブ告知動画制作。 MV告知動画制作。
【後期】 15～22回目	CDトレーラー制作。
【後期】 23～36回目	企画イベントに向けてのプロモーション動画企画・制作。 マーケティング授業。
【後期】 37～40回目	CDリリース後プロモーション映像制作。
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	授業用パソコンは規約に従い、丁寧に扱う事。教室内は飲食不可。撮影データの保存については、講師の指定した方法で行ってください。
使用教科書	課題に応じた教材データ(動画や画像を含む)を配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	プロダクション実習	授業形態 / 必・選	実習	選択必修	
		年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	168回(336単位時間)	年間単位数	11単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験:27年。 音楽ソフトの企画・制作からプロモーション、アーティストマネジメントに従事。その後、ヘアメイク、スタイリスト、カメラマン、デザイナーなどクリエイターのマネジメントに移行。現在も幅広く業務を行っている。				
授業概要					
アーティストの協力の元、ライブ制作、CD制作、ミュージックビデオ制作、プロモーションなど、プロダクションやレコード会社で行う一連の流れを学ぶ。					
到達目標					
プロダクションにおける業務の理解。					

授業計画・内容	
【前期】 1～12回目	年間実習予定について グランドスケジュールの作成
【前期】 13～24回目	ホームページ制作に関する会議 宣伝ツールとしてのSNS立ち上げ
【前期】 25～39回目	アーティストとの選曲会議 プリプロダクション立会い
【前期】 40～59回目	1年生授業とリンクしての6月ライブ実習 本番レコーディング～ミックスダウン～マスタリング立会い
【前期】 60～84回目	9月企画ライブの企画立案～準備～本番実施 アーティスト写真撮影(コンセプト立案～ロケハン～撮影準備～本番撮影) CDジャケット制作(準備～撮影～デザイン～入稿)
【後期】 1～20回目	ミュージックビデオ制作(コンセプト立案～照明・映像専攻コースとの打ち合わせ～撮影～試写・修正依頼) 宣伝資料準備
【後期】 21～39回目	宣伝プランニング立案とアタックリストの作成～メディア・アプローチ CDショッププロモーション
【後期】 40～59回目	12月CD発売記念ライブの企画立案～準備～本番実施
【後期】 60～84回目	2月企画ライブの企画立案～準備～本番実施
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	実習協力アーティストや学外とのメールでのやりとりは、必ずccに教務・講師を入れること。SNSを使用してのプロモーションは、学科規則にのっとり行う事。担当セッションごとに協力して実習を遂行してください。
使用教科書	授業資料として、商品登録申請書などのフォーマットをEXCELやPDF形式で配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ProTools講座		授業形態 / 必・選	講義	選択必修
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	39回(78単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験: 27年 レコーディングスタジオで7年間アシスタントとして多くのことを学び、その後レコーディングエンジニアだけではなく、5000人規模のライブ録音や50人規模のライブPAなど音を操る場で幅広く活動。				
授業概要					
PC画面での音素材の加工や、ミックス作業を行う。					
到達目標					
Pro Toolsを使用したレコーディングに関するオペレーションスキルの習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～2回目	DAW関連について Pro Tools、オーディオ・映像について
【前期】 3～7回目	Pro Tools基礎操作、ツールの機能について セッションの立ち上げ オーディオ録音について
【前期】 8～14回目	モニター・バランスの作り方 リヴァーブ/ディレイの操作方法 グループの作り方
【前期】 15～18回目	メモリー・ロケーション作成 イコライザー/コンプレッサー/エフェクターについて
【前期】 19～22回目	ヴォーカル編集について
【後期】 1～7回目	2ミックス編集について リズム編集
【後期】 8～12回目	ミックスバランスの作り方 オートメーション操作方法 プラグインオートメーションについて
【後期】 13～16回目	オーディオ編集について ショートカットとその他の機能について
【後期】 17回目	年間の復習と総括
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	教室にあるMacの取扱いは講師の指示に従う事。教室内は飲食不可。各自イヤホンを持参してください。
使用教科書	オリジナルテキストを随時PDF形式にて配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	音楽理論講座	授業形態 / 必・選	講義	選択必修	
		年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	41回(82単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経歴: 26年 大学にてクラシックピアノを学んだ後、ピアニストとして活動を開始。クラシック・ポピュラーミュージック・ジャズ等、ジャンルにとらわれず様々なレコーディングやライブに携わり、海外での演奏も行うなど精力的に活動中。				
授業概要					
五線譜を用意し、自ら音符を書き込む。 五線譜に書いた音符を手拍子等でリズムを表現する。					
到達目標					
音楽の構成を理論的に分析、把握する技術の修得。 楽譜の読み書きが出来る。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	音の三要素と音楽の三要素 音律(純音律と平均律)について 変化記号について
【前期】 5～10回目	記譜法 速度、強弱、奏法、省略記号に関する基礎知識 音階について
【前期】 11～14回目	音程について Major triadについて
【前期】 15～19回目	Minor triadについて augment triadについて
【後期】 1～5回目	diminish triadについて 4和音について
【後期】 6～11回目	Major 6thについて minor 6thについて
【後期】 12～16回目	<input type="checkbox"/> 7 sus4について <input type="checkbox"/> 7 (b 5)について
【後期】 17～20回目	diminish 7thについて コードの回転
【後期】 21～22回目	diatonic chordについて リズムトレーニング
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	基本的な楽譜の読解を基礎から学びなおします。エンジニアに必要とされる譜面に対する知識を楽しく学んでいきましょう。
使用教科書	オリジナルテキストを随時配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	電気製作講座	授業形態 / 必・選	講義	選択必修	
		年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	39回(78単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験:21年 楽器レンタル会社に所属の後にフリーランスとして15年ほど活動。担当アーティストの楽器・機材のケア、またイベントなどでの現地楽器、リハーサル時などではPAまわりも担当。楽器の他に舞台監督としてアーティスト周年イベントなどでも活動。				
授業概要					
電気について基礎から学ぶ。 PAやレコーディング、照明の現場で使用されている各ケーブルの製作方法を学ぶ。					
到達目標					
電気についての基礎知識の修得、半田ごての技術習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	工具説明 ハンダの必要性の説明 ハンダの溶かし方、当て方の基本練習
【前期】 5～10回目	リード線をラグ板に接合してハンダ付け テスターの使い方について ケーブルの構造説明
【前期】 11～14回目	バランス・アンバランスについて アンバランスケーブルの線材加工練習 アンバランスケーブル予備ハンダ練習
【前期】 15～19回目	アンバランスケーブル接合練習 TSフォンの製作
【後期】 1～5回目	バランスケーブルの線材加工練習 バランスケーブルの予備ハンダ練習 バランスケーブルの接合練習
【後期】 6～11回目	XLRケーブル(オス側)の製作 XLRケーブル(メス側)の製作
【後期】 12～16回目	TRSフォンケーブルの製作 RCAケーブルの製作
【後期】 17～18回目	スピーカーケーブルの構造 スピーカーケーブルの製作(スピコン)
【後期】 19～20回目	スピーカーケーブルの製作(TSフォン) AM/FMラジオ製作
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	電気の基礎やケーブルの構造を実際に自分で製作しながら学んでいきましょう。同時に現場で求められる半田ごての技術習得を目指します。
使用教科書	オリジナルテキストを随時配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	PA実習	授業形態 / 必・選	実習	選択必修	
		年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	84回(168単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験:42年。 大手楽器メーカーにてホール音響を担当後、ライブハウスの企画・音響に従事。その後自身の会社を立ち上げ、PA業務にとどまらず、リハーサルスタジオやライブカフェ経営などマルチなビジネスを展開している。				
授業概要					
ライブホールの機材を使い、セッティング、チェック、スピーカーチューニング、PAオペレートなどの作業を学					
到達目標					
仕込みから本番までのPAに関するオペレートのノウハウの習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～6回目	ホール機材の説明 デジタルミキサーについて
【前期】 7～16回目	ステージ仕込み IN/OUT仕込み、チューニング、バラシ
【前期】 17～30回目	1年生「コンサート制作講座」と連動したライブ実習
【前期】 31～36回目	ステージ仕込み IN/OUT仕込み、チューニング、バラシ
【前期】 37～44回目	9月企画ライブに向けたプランニング、仕込み 本番オペレート、反省会
【後期】 1～12回目	様々な機材に触れる ・通常使用しているデジタル卓(YAMAHA M7)以外にも、YAMAHA TF1などに触れる
【後期】 13～20回目	12月CD発売記念ライブに向けたプランニング、仕込み 本番オペレート、反省会
【後期】 21～27回目	ステージ仕込み モニター卓を組む
【後期】 28～40回目	2月卒業ライブに向けたプランニング、仕込み 本番オペレート、反省会
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	ホール内は飲食禁止。服装は学科規則に基づき遵守すること。セット図、セットリストの取扱いには細心の注意を払ってください。
使用教科書	授業資料として、デジタルミキサーの取扱説明書をデータで配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	楽器・舞台制作実習	授業形態 / 必・選	実習	選択必修	
		年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	84回(168単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験:21年 楽器レンタル会社に所属の後にフリーランスとして15年ほど活動。担当アーティストの楽器・機材のケア、またイベントなどでの現地楽器、リハーサル時などではPAまわりも担当。楽器の他に舞台監督としてアーティスト周年イベントなどでも活動。				
授業概要					
尺貫法や平台・箱馬の扱い方、楽器や周辺機材の知識・扱い方、各種セッティング等を学ぶ。					
到達目標					
コンサートスタッフとして必要な各楽器の基本的なセッティング、メンテナンス方法、ステージ全体の構成等のノウハウの習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～6回目	舞台用語について 安全な機材の運び方 尺貫法について/バミリについて
【前期】 7～12回目	Time Table、Stage Plotの見方について ライブ現場での各セクションの動き
【前期】 13～20回目	ドラムについて シンバルスタンド類について ドラムのセッティング～ドラムのパーツケースへのしまい方(紐の結び方)
【前期】 21～32回目	ギター/ベースについて チューニング/弦交換
【前期】 33～42回目	アンプの種類について ギター・アンプの接続と音が出る仕組み ステージでのジェスチャーについて
【後期】 1～12回目	各種楽器スタンドの組み立て方 ピアノ・シンセ・オルガンの違い アンプ/PAから音が出る仕組み
【後期】 13～22回目	ギター/ベースの指板上の音階について コンボ/セパレート・アンプの構造
【後期】 23～34回目	アンプの各ツマミについて/音作り エフェクター各種
【後期】 35～42回目	年間の復習と総括
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	楽器の取扱いについては、講師の指示に従う事。また、機材在庫数の管理は細心の注意を払う事。服装については、ホール/レコーディングスタジオの服装と同様とします。
使用教科書	オリジナルテキストを随時PDF形式にて配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	レコーディング実習	授業形態 / 必・選	実習	選択必修	
		年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	84回(168単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経歴: 32年 コロムビアスタジオにてアシスタントを経験し、サウンドスカイスタジオに移籍。その後トーンマイスターにて専属エンジニアとなる。1999年よりフリーランスとなりレコーディングエンジニア、PAエンジニアとして活躍中。				
授業概要					
実際にアーティストのレコーディング～MIX～マスタリングまでの工程を学ぶ。					
到達目標					
レコーディング現場に於ける音響技術の習得					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	スタジオのシステム、機材の名称、用途、操作方法をより理解する
【前期】 9～16回目	プリプロダクション準備 ・バンド・レコーディングのセッティング、回線チェック、マイクセット、サウンドチェック プリプロレコーディング
【前期】 17～30回目	ベーシックレコーディング 楽器ダビング ボーカルレコーディング
【前期】 31～38回目	ミックスダウンについて レコーディングした曲を使って、ProToolsでのエディット、プラグイン、ミックスを学ぶ
【前期】 39～44回目	マスタリングについて 学外のスタジオでマスタリングに立ち会う
【後期】 1～4回目	さまざまなマイクの音、セッティングを学ぶ
【後期】 5～12回目	レコーディング準備のスピードアップ(反復練習)
【後期】 13～22回目	バンドレコーディング①
【後期】 23～40回目	バンドレコーディング② 機材メンテナンス～総括
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	レコーディングスタジオ内は飲食禁止。服装は学科規則に基づき遵守すること。歌詞・譜面の取扱いには細心の注意を払ってください。
使用教科書	オリジナルテキストを随時PDF形式にて配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	映像メディア研究		授業形態 / 必・選	講義	選択必修
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	78回(156単位時間)	年間単位数	10単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験:14年。 映像制作、編集、映像オペレーターやVJなど、映像のオールラウンダー。最近では舞台映像や簡単なマッピングも制作。自身がVJとして所属するバンドでは企画から編集までオールセルフプロデュースのMVも制作。				
授業概要					
ミュージック・ビデオ、映画、CM、ドラマ、バラエティーなど様々な映像メディアを研究し、優れた作品、人をひきつける作品とはどういうものであるかを研究する授業。					
到達目標					
数多くの作品を見、解析することで審美眼を養うと共に、なぜその作品が良いのかを伝えられるようになる。					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	メディア研究① 概論:どのようなメディアがあるのか考えさせ、今後の研究対象を洗い出す。
【前期】 9～12回目	メディア研究② MV、ライブビデオ
【前期】 13～24回目	メディア研究③ 映画
【前期】 25～36回目	メディア研究④ CM
【前期】 37～42回目	メディア研究⑤ ドラマ
【後期】 1～14回目	メディア研究⑥ バラエティー
【後期】 15～22回目	メディア研究⑦ ネット動画
【後期】 23～34回目	2022年、私的アワード選定～発表
【後期】 35～36回目	総括
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	授業用パソコンは規約に従い、丁寧に扱う事。教室内は飲食不可。
使用教科書	特になし。適宜Webサイト上の関連ページを提示し、授業を実施。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	照明実習	授業形態 / 必・選	実習	選択必修	
		年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	84回(168単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験:44年。 演劇界、ダンス界で数えきれない程の現場を経験。後進の指導経験も豊富に持つ。				
授業概要					
照明のプランニングからオペレートまで、一般照明からムービングまでを基礎から応用まで学ぶ。					
到達目標					
照明プランニングとホールでの仕込み、本番でのオペレートのノウハウの習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	1年次の復習。 実習ホールの説明、安全に関するレクチャー。 バトン昇降、仕込み、SFの羽根の切り方。
【前期】 5～16回目	仕込み図の理解や書き方、一般照明パッチの仕方。
【前期】 17～32回目	一般照明とLEDとの記憶、修正、卓の操作。
【前期】 33～36回目	LIVEに向けてのデザイン、入れ込み、DANCE照明について、MV操作、センターピン実習。
【前期】 37～44回目	9月企画ライブに向けたプランニング、仕込み。 本番オペレート、反省会。
【後期】 1～12回目	デザインの考え方、持込曲で自由表現課題、持込曲の発表。
【後期】 13～21回目	12月CD発売記念ライブに向けたプランニング、仕込み。 本番オペレート、反省会。
【後期】 22～30回目	2月企画ライブに向けたプランニング、仕込み 本番オペレート、反省会
【後期】 31～40回目	芝居、バレエ、フラメンコなど専門用語の違いとデザインの違い。
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	ホール内は飲食禁止。服装は学科規則に基づき遵守すること。セット図、セットリスト、歌詞、音源の取扱いには細心の注意を払ってください。
使用教科書	オリジナルテキストを随時プリントやPDF形式にて配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	映像制作実習	授業形態 / 必・選	実習	選択必修	
		年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	84回(168単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験:14年。 映像制作、編集、映像オペレーターやVJなど、映像のオールラウンダー。最近では舞台映像や簡単なマッピングも制作。自身がVJとして所属するバンドでは企画から編集までオールセルフプロデュースのMVも制作。				
授業概要					
ミュージックビデオ制作を中心に映像制作のプランニングから撮影、編集までの一連の流れについて学ぶ					
到達目標					
Adobe社のPremireやAfterEffectsといったソフトを用いた基礎的な編集技術およびミュージックビデオ制作のノウハウの習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～6回目	ミュージックビデオ模擬企画制作 ・各担当決め ・企画制作
【前期】 7～16回目	ミュージックビデオ模擬企画制作 ・香盤表作成 ・スケジュール作成 ・カメラリハーサル ・撮影～編集
【前期】 17～26回目	ミュージックビデオ本番企画制作 ・企画制作、絵コンテなど資料制作 ・アーティスト、プロダクションコースにプレゼンテーション
【前期】 27～36回目	ミュージックビデオ本番企画制作 ・企画修正、報告 ・ミュージックビデオ内容確定
【前期】 37～44回目	ミュージックビデオ本番企画制作 ・資料作成、ロケハン、各種許可、カメラテストなど実施 ・撮影～編集～特殊効果等
【後期】 1～16回目	ミュージックビデオ本番企画制作 ・試写～修正～確認～納品
【後期】 17～24回目	・オンライン動画配信について ・CD発売記念ライブ撮影～編集
【後期】 25～30回目	After Effectsについて
【後期】 31～40回目	2月企画ライブ撮影～編集
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	授業用パソコンは規約に従い、丁寧に扱う事。教室内は飲食不可。撮影データの保存については、講師の指定した方法で行ってください。
使用教科書	課題に応じた教材データ(動画や画像を含む)を配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	Web実習		授業形態 / 必・選	実習	選択必修
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	84回(168単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験:6年。 大手プロダクションにて、公式モバイルサイトの運営やインターネット放送局の配信・運営に従事。デザインやコーディングをはじめ、カメラのスイッチングやミキシングなどの業務に携わり、現在に至る。				
授業概要					
Dream Weaver、Illustrator、Photoshop等を用いたホームページ制作、デザインを学ぶ。実際にアーティストのホームページ制作まで行う。					
到達目標					
複雑な構造でないホームページのデザインやコーディングのノウハウの習得。 CMSに関する基礎知識の習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～6回目	1年次「デザインPC講座」の復習 ワイヤーフレーム・デザインについて
【前期】 7～14回目	実習アーティストWeb制作計画など・準備 Web設計
【前期】 15～30回目	Webデザイン Webコーディング
【前期】 31～38回目	Webサイトテストアップ Webサイト公開
【前期】 39～44回目	9月企画ライブホームページ更新
【後期】 1～12回目	Webサイト制作・課題 Webリニューアルデザイン
【後期】 13～22回目	12月CD発売記念ライブホームページ更新 CMSおよびWordPressについて
【後期】 23～32回目	2月企画ライブホームページ更新 ポートフォリオ作成
【後期】 33～40回目	総括
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	授業用パソコンは規約に従い、丁寧に扱う事。教室内は飲食不可。公開前データの取り扱いについては細心の注意を払ってください。
使用教科書	課題のための例題を随時データにて配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	デザインPC実習	授業形態 / 必・選	実習	選択必修	
		年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	41回(82単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	音楽スタッフ総合コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験:6年。 大手プロダクションにて、公式モバイルサイトの運営やインターネット放送局の配信・運営に従事。デザインやコーディングをはじめ、カメラのスイッチングやミキシングなどの業務に携わり、現在に至る。				
授業概要					
Adobe社のIllustrator、Photoshop等を使用したアーティストのフライヤーやポスター制作および色彩に関する知識について学ぶ。					
到達目標					
デザイン力の向上。色彩に関する知識の習得。 Illustrator、Photoshop等の応用操作技術の習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～2回目	デザイン基礎 入稿作成データについて
【前期】 3～8回目	Photoshop/WEBデザインの基本 WEBデザイン/スマートフォン版 Photoshop/バナー作成
【前期】 9～14回目	Illustrator/ロゴ作成 Illustrator/エディトリアルデザイン Illustrator/チラシ制作
【前期】 15～18回目	色彩理論/基礎 色彩理論/応用 デザイン/文字について
【前期】 19～22回目	Photoshop/写真レタッチ 写真加工
【後期】 1～6回目	デザインカスタマイズ Photoshop/レイヤースタイルを使ったタイトルロゴ、見出し Photoshop/エフェクト加工
【後期】 7～10回目	After Effect/基本操作～簡単なエフェクトでリアル画像
【後期】 11～14回目	Photoshop/課題:チラシデザイン(ダミー) WEB用画像作成(メインビジュアル)
【後期】 15～19回目	WEBデザイン/課題 自由課題:立案～設計～デザイン
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	授業用パソコンは規約に従い、丁寧に扱う事。教室内は飲食不可。公開前データの取り扱いについては細心の注意を払ってください。
使用教科書	課題のための例題を随時データにて配布。